



CS だより 第3回学校運営協議会（2月20日）の様子

- ◇「本年度の取り組み」・「学校関係者評価」・「いじめ防止基本方針」
 - ・今学んでいることが将来や自分の成長にどう繋がるのかを子供が実感し、自己調整しながら深く学べるような、目的意識を持たせる指導が重要である。
 - ・学ぶことの意味・意義について、授業での意識付けが大切である。また、ICT を効果的に活用し、児童に寄り添った個別の支援を行う工夫が必要である。

◇次年度の学校運営の基本方針の概要説明

- ・時間外勤務の減少など、職場環境の改善を評価しつつ、それが教育活動の「おろそかな対応」に繋がらないよう、効率化と質のバランスが必要である。
- ・教員の負担軽減と教育活動の充実を両立させるため、学校ボランティア等の外部人材を、授業や生活の各場面でもっと積極的に取り入れていけるとよい。



◇今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・不易（過去からの大切にすべき教育）と流行（ICTをはじめ、新たに導入していく教育）のバランスを取りながら教育活動を進めていく。
- ・本校の教育活動を保護者に一層理解していただけるよう、見える化できるとよい。そうすることで、学校と家庭の視点を揃え、それぞれができる教育の在り方を見出すことができる。



<コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは？>

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めています。

※学校運営協議会の中では、授業の様子と「6年生を送る会」のリハーサルも参観していただきました。リハーサルでは元気いっぱい練習していました。

